

考え議論する道徳

校内フリースペース

ハートウォーミングプラン

具体的な施策は  クリックでご覧になれます。



ニューノーマルな心の教育 「情操のために」 Heartwarming innovation

いじめをなくそう なかよし週間

「いじめゼロ」を目指した 「いじめ防止の授業」の実施

いじめの4層構造を考えさせる事例を基にした授業やゲストティーチャーを招いての授業など、いじめ防止を目的とした授業を、全中学校で実施します。

SNSによるトラブルゼロを目指した 情報モラル教育の充実

SNSによるトラブルをゼロにするため、授業や集会などの実施により、積極的に情報モラル教育を推進します。

子供と家庭を結ぶ 「家守詩（やもりうた）」の実施（小高学年・中学校）

子供が親や家族への気持ちを上の句（五・七・五）で詠み、それに答えて親や家族が下の句（七・七）で返す連歌で、お互いが感謝や親愛の気持ちを伝える場をつくります。

「Q-Uテスト（楽しい生活を送るためのアンケート）」 の実施（4・5・6・中2）

年1回（春）にQ-Uテストを実施し、その結果に基づいて各学級で学活、個人面談、エンカウンター等を実施し、そのねらいや成果をカードに記入し、校内で共通理解を図ります。



不登校をゼロにするための学校と家庭の連携強化

スクールソーシャルワーカーを配置

各学校の諸問題に対して適切なアドバイスをしたり、保護者との面談を通して、児童生徒・保護者の悩みをともに考える守谷市スクールソーシャルワーカー（1名）を配置します。

オンラインシステムを活用した教育相談の場の提供

必要に応じて、一人一台のタブレット配付を活用し、学校と家庭をオンラインでつなぎ、児童生徒や保護者と教諭が教育相談できる場をつくります。



「遊ゆうタイム」の創設

ロング昼休みを創設して体力向上

昼休みを延長して子供たちの体力の向上を図ります。また、遊びの時間を通して、コミュニケーション能力や創造力の発達、表現力や自主性の向上を目指します。



思いやりの心を育てる「きらめきフォーラム」の継続

Moriya きらめきフォーラム

守谷市の学校、保護者、地域が一体となって、思いやりあふれるまちづくりを目指すとともに、守谷型一貫教育の強みを生かして市内小中学校の児童生徒と守谷高等学校の生徒が一堂に会して実施しているフォーラムです。

【スローガン】 平成30年『学校から地域へ広げよう』～目に見える変化を起こす～
令和元年 昨年度のテーマを中学校区ごとに具現化



子供たちが
安心して通える
学校づくり。



子供たちが安心して通える学校づくり もりやハートウォーミングプラン。 Heartfelt Education of MORIYA City

No.1 いじめ・不登校ゼロパック



「いじめをなくそう仲良し週間」の創設

いじめの未然防止・早期発見及び早期解決を図る教育活動

- いじめゼロを目指した「いじめ防止授業」の実施
- SNSによるトラブルゼロを目指した情報モラル教育の充実
- Q-Uテスト（楽しい生活を送るためのアンケート）の実施

不登校ゼロに向けた学校と家庭の連携強化

専門家や ICT を活用した子供の心の寄り添う環境づくり

- 市独自のスクールソーシャルワーカーの配置（1名）
- オンラインシステムを活用した教育相談の場の提供
- 達成感を味わえる個々の資質・能力を生かす支援

No.2 子どもたちの心と体を育てるために



「遊ゆうタイム」の創設

心身の健康を目指した体力アップ・自主性などの育成

- ロング昼休みを創設し、体力向上
- コミュニケーション能力や創造力の発達、表現力や自主性の向上

「きらめきフォーラム」の継続

思いやりの心を育てる守谷市の一貫教育施策

- いじめ防止、助け合い、相互理解を深めるなど幅広いテーマでのフォーラムの実施
- 各中学校区、小中高連携開催など、各学校を結んでの思いやりあふれるまちづくり

子供たちが安心して通える学校づくり いじめ・不登校ゼロパックと子供たちの心と体を育てるために。



不登校をゼロにするための
学校と家庭の連携強化

子供たちの安心のために。

守谷市は、安心して通える学校づくり・豊かな心と
健全な体の育成を目指して、心あたたまり子供たち
が生き生きと輝く教育活動を推進していきます。

体力や自主性等の向上

思いやりの心を育てる
フォーラムの継続

情報モラル教育

Q-Uテスト

スクールソーシャルワーカー

家守詩（やもりうた）

児童生徒・保護者の悩みをともに考える

もりや
ハートウォーミング
プラン
MORIYA
Heart warming plan

遊ゆうタイム

きらめきフォーラム

特別活動

道徳科

いじめをなくそう仲良し週間

守谷市「校内フリースペース（不登校支援教室）」



令和5年度 市内4つの小学校に「校内フリースペース」を設置

■ 時間・時刻のフリー

（学習時間、登校時刻のフリー）



自分のペースで登校し、自分で学習時間を決めて行きます

【4つのフリー】でサポート

学校内に安心して登校できる「居場所」をつくり
学校と関係機関が連携して不登校支援を行います

守谷市教育総合支援センター



いじめ・不登校
対策相談員



センター長



スクールソーシャル
ワーカー

適応指導教室
「はばたき」



適応指導教室
「はばたき」指導員



教育相談グループ



センター相談員
統括相談員(中学校区ごと)

校内フリースペース
（不登校支援教室）



フリースペース支援員

■ 内容のフリー

（学習や活動のフリー）



個別やオンラインなど自分で学習内容や活動を決定します

■ 場所のフリー

（学習場所、心の居場所としてのフリー）



個人・協働スペースなど自分で活動場を選択します

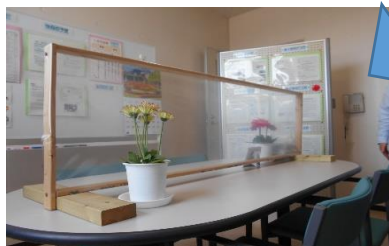
■ 対応のフリー

（本人のニーズに応じ、一元的な対応をしないフリー）



支援員が児童生徒一人一人に合った支援を行います

令和4年度 市内4中学校に設置



守谷中学校（松風ルーム）



愛宕中学校（フリースペース）



御所ヶ丘中学校（桔梗ルーム）



けやき台中学校（こもれび）

守谷市「校内フリースペース（不登校支援教室）」



市内小中学校に「校内フリースペース（不登校支援教室）」設置、支援員各1名配置

- 令和4年度に、市内全中学校に「校内フリースペース（不登校支援教室）」を設置
- 令和5年度から、市内4つの小学校に「校内フリースペース（不登校支援教室）」を設置

令和4年度から生徒の不登校対策支援として、市内4中学校に「校内フリースペース」を設置し、専属の支援員を配置しました。学校や教室に行くのが難しい生徒に対して、学校内に安心できる居場所をつくり、支援員がサポートすることで、各中学校10名以上の生徒が登校できました。

令和5年度からは、小学校にも設置拡大し、児童の不登校支援にも努めてまいります。

1 「フリースペース支援員」配置人数

8名（中学校4名、小学校4名）

2 設置校

市内中学校4校

守谷中学校、愛宕中学校、御所ヶ丘中学校、けやき台中学校

市内小学校4校（各中学校区に1校「拠点校」として設置）

大野小学校、守谷小学校、大井沢小学校、高野小学校

3 支援内容

- (1) 悩み相談、学習支援
（オンライン授業参加への支援を含む）
- (2) 担任、教科担当及び家庭との連絡調整
- (3) 守谷市総合教育支援センターとの連携



守谷中学校「松風ルーム」



愛宕中学校「フリースペース」



御所ヶ丘中学校「桔梗ルーム」



けやき台中学校「こもれび」

校内フリースペース（市内4中学校）

児童生徒の道徳性を養う「考え、議論する道徳」



自分ごとと捉える事前アンケート



ゲストティーチャーの効果的活用



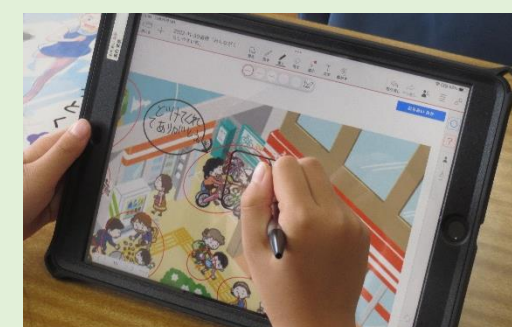
興味・関心を喚起する写真資料



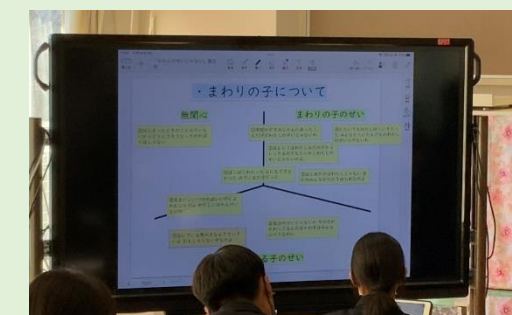
自我関与を促す役割演技



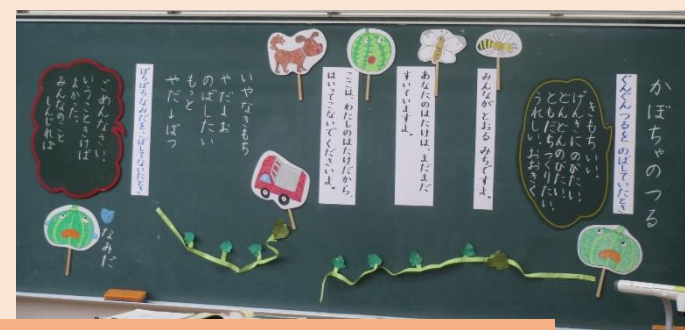
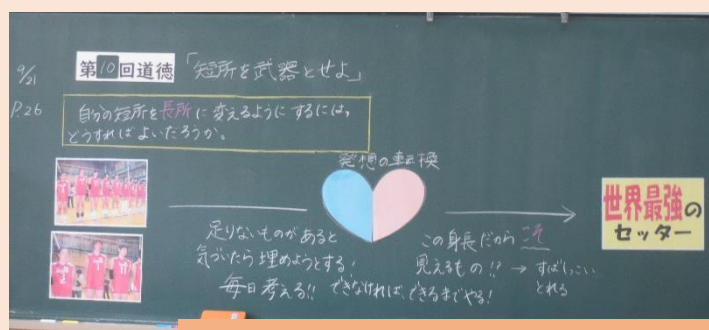
立場を明確にするネームプレート



1人1台端末の効果的活用



思考ツールの活用



児童生徒の思考を整理し、考えを広げたり深めたりする板書構成



座席表や ICT 機器を活用した個に応じた支援